

目次

2019年度第2回部門理事会・評議員会合同会議について1

- ◎ 記者懇談会
- ◎ 部門理事会・評議員会合同会議

第76回国際酸素製造者協会 (IOMA) バンコク年次総会2

- ◎ 総会初日の模様
- ◎ プレジデントバンケットと2019年度国際統合化功労賞受賞
- ◎ 総会2日目の模様

新事務局員の紹介4

産業ガスレポート春号(3月号)の廃止について4

本部関連の活動スケジュール (2020年1月)

開催日	時間	主催	内容	開催場所
1月14日(火)	16:30~	JIMGA本部	2020年 賀詞交歓会	経団連会館

※詳細は本部までお問い合わせください。

2019年度第2回部門理事会・評議員会合同会議について



記者懇談会の様子
(左より瀬戸常務理事、川本副会長、
今井会長、加藤専務理事)

記者懇談会

11月27日、メルパルク大阪で2019年度第2回部門理事会・評議員会を開催しました。

先立って行われた記者懇談会では、今井会長より当業界で取り扱う各種ガスの製法や用途等を改めて説明しました。ひっ迫しているヘリウム需給については、世界的な供給不足と米国からの輸入減少等の複合的な要因により、今後数年間は危機的な状況が続くとの見解を述べました。

また電力料金問題について、当業界の製品は産業のインフラであり、国内産業の空洞化を防ぐためにも料金の上昇分の転嫁は難しく、政府へFIT制度の抜本的見直しおよび適切なエネルギーミックスを訴えるため、他団体と協同での活動を継続すると述べました。

さらに、喫緊の課題である災害対策、放置容器問題等について、全力を挙げて取り組むとして、今後の活動方針について説明を行いました。

部門理事会・評議員会合同会議

部門理事会・評議員会合同会議では、理事会が産業ガス部門定数10名のうち8名、医療ガス部門定数10名のうち7名が出席、評議員会が産業ガス部門定数37名全員、医療ガス部門定数49名全員が出席しました（代理出席含む）。

今井会長は挨拶で、台風15号による高波、19号による河川の氾濫により会員の充填所から容器流出が発生したことを踏まえ、会員事業所の容器流出防止対策、状況の把握および災害時でもガスの供給を継続できる仕組みづくりのための災害対策専門チームを立ち上げると述べるとともに、会員各社へ送付した災害対策に関する調査書への回答協力を呼びかけました。

その後、議長に選出された今井会長の進行により、1議案（入会希望事業者審査の件）の審議および決議が行われ、全会一致で承認されました。

報告事項では、2019年度上期活動報告および収支計算書報告、ならびに消費税率変更への対応等が報告されました。

詳しくは、JIMGAウェブサイト会員ページの「会議の開催記録」に掲載の資料をご覧ください。

(広報委員会 事務局 石原 智子)



会長挨拶

第76回国際酸素製造者協会(IOMA)バンコク年次総会



レセプションディナーの移動で乗った
小型タクシー「トゥクトゥク」

2019年11月3日～5日に、第76回国際酸素製造者協会（International Oxygen Manufacturers Association：IOMA）年次総会が、タイの首都バンコクのザ・ペニンシュラ・バンコクで開催されました。

世界中の産業ガスビジネスに関わる経営者が一堂に会し、28か国、158名の参加がありました。JIMGA会員企業からは、6社24名が参加し、JIMGAからは、今井会長、羽坂常務執行役員、加藤が出席しました。

11月3日のレセプションディナーのため、スワン・パッカード宮殿博物館（Suan Pakkad Palace Museum）への移動に、タイの小型タクシー「トゥクトゥク」を利用しました。開放感があり走っている限りは涼しく、スリル満点（危険です）な乗り物です。前日からのASEANの会議の影響もあり、交通渋滞により15分のところ1時間近くかかりました。会食中に熱帯気候特有のスコールになり心配しましたが、帰りは大型バスでしたので、それほど濡れずにホテルに到着しました。

総会初日の模様

翌日午前8時半からIOMAの代表Alex Buendia氏（Strandmøllen A/S）の議事進行で総会が開始され、国際整合化委員会（International Harmonization Council：IHC）のメンバー紹介（JIMGA：今井・加藤・羽坂、AIGA、EIGA、CGA）の後、出席者全員による自己紹介が行われました。

この日の講演では、Prof. Thitinan Pongsudhirak（Chulalongkorn大学）より、「タイを含む東南アジアの文化と歴史、ならびにビジネス規模と将来性」に関して2部構成の講演が行われ、続いてタイ民族舞踊（女踊りと男踊り（ムエタイ））が披露されました。

午後は、国際委員会（Global Committee: GC）が行われ、岩谷産業(株)堀口取締役専務執行役員と喜村部長、大陽日酸(株)三木執行役員と久和野部長、JIMGAの加藤が参加しました。環境問題に関わるサステナブル評価に関する議論と今年7月に中国で起きたASU事故に関して、CGAをリーダーとして4協会がタスクチーム活動を開始し、再発防止に向けた対策検討を行うことが承認されました。



タイ民族舞踊
（男踊り（ムエタイ））

プレジデントバンケットと 2019年度国際整合化功労賞受賞

午後7時半からのカクテルレセプションに続き、8時半からプレジデントバンケット（ドレスコード：ブラックタイ）が開催されました。生バンドを聴きながら1時間ほどの会食の後、2019年度国際整合化功労賞（International Harmonization Award）の授賞式となりました。

今年度は大陽日酸(株) (JIMGA勤務) の羽坂氏が受賞しました。受賞理由は、「アルシン・ホスフィンの安全な取扱い指針」作成にあたり、AIGAとJIMGAの共同タスクチームのリーダーを2007年から2009年まで務め、2010年に4協会がそれらの基準を発行し、昨年、改訂版が発行されたことによります。また、羽坂氏の半導体プロセスガスに関わる製造からプロセス、除害までの技術開発活動に対してガス業界や学術論文に対する貢献が含まれます。現在はJIMGAでIHC活動を推進し、併せてISO TC58「ガス容器」、TC220「超低温貯槽」の日本代表メンバーを務めています。

この国際整合化功労賞は、1999年にIHC活動が開始された6年後の2005年から行われ、今年で15年目となります。JIMGAからは、2011年の鷲頭氏(エア・ウォーター(株))、2014年の仲山氏(大陽日酸(株))に続いて3人目の受賞です。



2019年度国際整合化功労賞受賞と
ガラス製受賞記念の盾

総会2日目の模様

最終日は、8時半より講演が始まりました。最初にGCの議長のTodd Skare氏(Linde) から、IHCの活動状況の説明がありました。この活動の目的は、安全の維持や作業の効率化に関わる共通事項を整合化文書として作成し、国家間や企業間で重複している文書の共有化を行うことです。現在まで、新規文書62文書、改訂文書45文書がリリースされ、活動中のプロジェクトが新規プロジェクト10件、改訂プロジェクト18件あることが紹介されました。続いて、ローマクラブ*のGraeme Maxton氏から、人口と温暖化に関する分析結果の講演がありました。詳細なデータを交えた興味深い講演でした。最後に、2件のタイを含むガスビジネスマーケット解析の講演がありました。

締めくくりとして2020年度からの理事会のメンバー交代が承認され、Chairman: Alex Buendia氏(Strandmøllen A/S)、President: Ivo Bols氏(Air Products Europe)、Vice President: Giorgio Trevisi氏(OXICAR)、Secretary: Marco Annoni氏(SOL S p.A)、Treasurer: Todd Skare氏(Linde)が新たに就任しました。



Todd Skare GC議長のIHC活動報告

来年の総会は、2020年10月11日~14日、アメリカのワシントンDCのマンダリンホテルで開催される予定です。

*ローマクラブは、「成長の限界」を1972年に発表して環境問題をいち早く取り上げ、国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)の契機となったシンクタンクです。

(専務理事 加藤 尚嗣)

新事務局員の紹介



名 前：市川 裕一（いちかわ ゆういち）

現住所：神奈川県横浜市

生年月：1964年5月

略 歴：1988年4月 東洋酸素(株) 入社 経理部資金G 配属

1995年 大陽東洋酸素(株) 東京支社

2004年 大陽日酸(株) 川口機器製作所

2015年 大陽日酸健康保険組合

2019年 JIMGA 経理部

(2020年2月1日 経理部長就任予定)

趣 味：趣味といえるかどうか分かりませんが、乗り鉄、遺跡巡り、読書など。青春18きっぷなどを利用し、なるべくお金をかけずに全国各地のローカル線に乗るのがマイブームです。最近は大井川鉄道に乗ってきました。次回は三陸鉄道全線に乗りたいと思っています。

抱 負：現在、JIMGAでは産業ガス部門と医療ガス部門の一体化、組織のスリム化が課題となっています。スリム化に向け、微力ながらONE TEAMで取り組んでいきたいと思っています。また個人的には、メタボリックシンドロームからの脱却を目指し、おなか周りのスリム化にも取り組んでまいります。

産業ガスレポート春号(3月号)の廃止について

産業ガスレポートは、次回より春号を廃止し、例年9月末に発行している秋号の年1回発行とすることとなりました。毎年春号に掲載している主要記事は、下記媒体で提供しますのでご了承ください。

- ◆ 賀詞交歓会: JIMGAnews56号(2月末発行)
- ◆ 第2回部門理事会・評議員会合同会議: JIMGAnews 55号(本号)
- ◆ 技術・国際ニュース: JIMGAウェブサイト産業ガス部門会員ページ「会議の開催記録」(3月予定)
- ◆ 地域本部の活動報告: JIMGAウェブサイト産業ガス部門会員ページ「地域本部」(3月予定)

(広報委員会 事務局 岩戸 康人)